

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書

様式1

No. 09010010

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・償還期間 平成12年度～平成28年度 ・償還金額 362,002千円
基本施策	1	農業の振興	事業優先度	A		
単位施策	1	土地基盤の充実	政策事務分類	1	単独自治事務(例規)	
事業名	枝幸南部地区国営総合農地開発事業償還負担金					
事業期間	平成25年度～平成28年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	納付額					
事業目標	事業償還負担金					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	9	産業振興課	
			関係課		#N/A	
			ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
			関係例規・法令名	有	雄武町国営土地改良事業負担金等の徴収に関する条例	
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成25年度 事業内容	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	平成28年度 事業内容	平成29年度 事業内容	
計画 内容	この事業により、周辺未利用地の開発と併せて既耕地の改良を行い経営規模の拡大と土地生産性の向上を図ることによって、農業経営を安定させるため行った国営事業の地元負担金を優先して償還する。	事業償還負担金	事業償還負担金	事業償還負担金	事業償還負担金		
	事業費(千円)	11,204	4,842	4,842	760	760	
計画 事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	11,204	4,842	4,842	760	760	
実績 事業費	事業費(千円)	10,447	4,844	4,843	760	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	9,198	4,289	4,262	647			
一般財源	1,249	555	581	113			
関連 事項	特定財源の名称		(実施内容等) 事業償還負担金 4,844千円	(実施内容等) 事業償還負担金 4,843千円	(実施内容等) 事業償還負担金 760千円	(実施内容等)	
	◎受益農家負担金	【評価・実績】					
			※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	事業償還負担金・4,842千円	事業償還負担金・4,842千円	事業償還負担金・760千円	事業償還負担金・760千円	
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率	100%	100%	100%	0%	#DIV/0!
	全体達成率	43%	86%	93%	93%	93%	
	備考欄						

事業名	枝幸南部地区国営総合農地開発事業償還負担金	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農地整備係長	苫米地 幸二

様式1
平成27年度実施
平成28年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	枝幸南部地区受益者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	負担金の納付率		
【抱える課題やニーズは】	償還負担金の滞納		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	償還負担金100%の納入		① 納付額/受益者負担額	目標年度	平成27年度
				目標値	760千円
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	償還負担金の完納		②	実績値	647千円
		達成度		85.1%	
		目標年度		平成27年度	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	償還負担金請求	納付書の発行、滞納者への納入督促			
	滞納者との面談実施	滞納者と面談を実施し、納付方法について協議を実施			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	枝幸南部地区国営総合農地開発事業で整備した農地造成等に係る負担金を償還するものであり、償還計画に基づいて受益者が負担金を償還するために必ず行う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり	設定した目標値の達成状況	受益者から負担金を徴収し、オホーツク総合振興局に納付を行うものであるが、一部の受益者(離農者)に未納があり、完納に向けた取り組みを行う必要がある。	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>		達成
	<input checked="" type="checkbox"/>		ほぼ達成
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	納付書の発行及び関係書類の送付であり、他に事業費が発生していないため、これ以上のコスト削減はできない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

概ね公平	判断の理由	農地の造成等を行った全ての受益者に納付義務があり、一部の受益者に滞納がある状況にあるが、概ね公平と判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
本事業償還者の大半の者が計画通りの償還を行っているが、一部の離農者に滞納が発生している状況にある。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
本事業は、地元負担金の償還であり、滞納分については一般財源による補填が行われているため、滞納の解消に向けた取り組みを行う必要がある。		

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止